

議事録

会議の名称	令和元年度第2回加東市総合教育会議
開催日時	令和元年11月28日(木) 午前10時00分～午前11時30分
開催場所	社公民館 2階 研修室
<p>議長の氏名 (市長 安田正義)</p> <p>出席及び欠席委員の氏名</p> <p><出席委員></p> <ul style="list-style-type: none"> ・市長 安田正義 ・教育長 藤本謙造 ・教育長職務代理者 田中寿一 ・教育委員 藤本洋二、神崎芳美、藤原哲史 <p><欠席委員></p> <p>なし</p>	
<p>出席した事務局職員の氏名及びその職名</p> <p><まちづくり政策部></p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり政策部長 小林勝成 ・企画政策課副課長 山本幸平 ・企画政策課主査 藤崎純平 ・企画政策課長 下岡正裕 ・企画政策課係長 小林寿泰 ・企画政策課主事 山本舞 <p><教育委員会教育振興部></p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育振興部長 西角啓吾 ・教育総務課副課長 徳岡あけみ ・生涯学習課長 長田徹 ・教育総務課長 菅野勇一 ・学校給食センター所長 簗田順子 ・中央図書館長 田中美紀子 <p><教育委員会こども未来部></p> <ul style="list-style-type: none"> ・こども未来部長 広西英二 ・こども教育課長 壺井初美 ・発達サポートセンター所長 片嶋美紀 ・参事兼学校教育課長 後藤浩美 ・小中一貫教育推進室長 柴崎俊之 	
<p>1 議 題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加東市教育大綱における各施策の令和2年度の取組内容について ・教職員の働き方改革について <p>2 会議資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料1 加東市教育大綱における各施策の令和2年度の取組内容について ・資料2 教職員の働き方改革について <p>3 会議の経過</p> <p>⇒別紙「令和元年度第2回加東市総合教育会議・会議の経過」のとおり</p>	

(別紙) 令和元年度第2回加東市総合教育会議・会議の経過

発言者	会議の経過 / 発言内容
議長 (市長)	<p>1 開会 2 市長あいさつ 3 協議</p> <p>(1) 加東市教育大綱における各施策の令和2年度の実施内容について</p> <p>事務局説明</p> <p>教育大綱における各施策の現在の取組状況と、来年度の取組に向けて、説明をしてもらいました。主に、網かけの部分を中心に説明を受けましたが、その部分を含めて全体的に御意見等がございましたら、是非お願いしたいと思います。</p>
委員	<p>教育というのは、本当に地道な取組で、普段の授業、生徒指導、そういったものがきちり行われているかどうかというのは、非常に大切だと思います。たくさん子どもたちがいるので様々な問題は生じると思いますが、本当に大きな問題はなく、しっかり地に足のついた教育が行われていると実感しています。</p> <p>たくさん子どもたちが安心して自分の力を発揮できるような教育環境が出来上がっていることについては、市のほうからの施設、また人的な面で、重点的な支援による地道な成果のあらわれでもあると思います。また、食育の話が出ましたけれども、小学校で食育のことを取り上げた劇の発表があったり、市民の方から和食の日があると話が出てきたりしており、日々の取組が市の中へ確実に浸透していると思っています。目の前の子どもたちをしっかりと見詰めて、これからも教育に取り組んでいただきたいと思っています。</p> <p>小中一貫教育のことについては、様々な課題を乗り越えながら、ここまで進んできています。前へ進めば、新たな問題の発生、取り巻く状況の変化、様々な課題が生まれてくるのは、当然のことだと思います。これまで多くの方が小中一貫教育の推進に関わってこられていますが、今後も多くの方の理解を求めながら、変わらず推進していただきたいという思いでいっぱいです。</p>
委員	<p>東条地域の小中一貫校建設についてですが、この間、東条地域で保護者会をしたときに、たくさんの方が参加し、多数の質問に対して、一つ一つ時間をかけて説明をしていったと聞いています。東条地域の方にとっては、新校舎建設が手の届くところに来ていますので、それを市長が皆さんに届けていただきたいと思います。それも、「いつか」や「いずれか」ではなく、令和3年度に完成するようお願いしたいと思います。</p>
委員	<p>防災教育を十分にしておくというのは、最も大事なことです。普段から防災に対する意識を持つことも大切ではないかなと思っています。</p> <p>小中一貫校の開校時期についての教育長の方針として、年内には開校時期を決めようということになっています。それについては、保護者やPTA、先生方の意見を最大限聞いて、時期を決定するという方向で進みたいと思っていますので、大変ではあると思いますが、格別の御尽力をお願いします。</p>

委員	<p>したいと思っています。</p> <p>ICTについても、色々と整備いただいて、加東市はよく進んでいると思いますが、来年度から各事業にプログラミングを取り入れてやっていこうということでもありますから、また整備等でお世話になることがあるかもしれませんが、よろしくお願ひしたいと思います。</p> <p>主体的で対話的な深い学びという、非常に理想的には高い学びを要求して教育が追求されており、それに沿って、各学校で計画的に実行され、成果も上がっていると感じています。一方で、そこになかなか入り込めない人たちへの対応も大切だと思います。多様性が大事にされている社会であるからこそ、きめ細かな対応をしていかなければならないという意味では、加東市の施策は、手厚く対応していただいていると思っています。インクルーシブ教育や対応が必要な人たちへのきめ細かな人員配置を含めた対応は、県下でも一、二を争うぐらい手厚いものだと思います。</p> <p>今日の新聞に、加東市の人口増加が県で3番目と記載してありました。その中には多分、外国人の増加といった部分が含まれていると思うのですが、多文化共生への対応というのも先進的な取組がこれから求められると思います。そのような意味でも、人の配置や組織的な対応が今後求められるので、進めていかなければならない対応や進められている部分を強めていただけたらありがたいなと思います。</p> <p>それから、インクルーシブ教育の中で、発達サポートセンターが新しくでき、場所も移して本格的に稼働していくのは、ありがたいことだと思います。重点的にしたいことも含めた意見として、学校でWISC知能検査を行っていますが、その数字の結果だけで、知能を判断することが難しい子どもたちが、存在していると思っています。そのような子どもたちへの対応を数字だけを見て人を配置するのではなく、より多くの色々な人たちの関わりの中で、子どもたちを見ていく必要があると思っていますので、さらなるお願ひをできたらと思っています。</p> <p>また、小中一貫教育ですが、そこまで小中一貫校はきているということは、市民の誰もが実感していると思っています。ただ、色々なニュースや動きがある中で、不安を抱いている方も大勢いると思っています。間違いなく小中一貫校はでき、こういった方向に向けて揺らぎなく進んでいくことを、市長をはじめとして、市で強調していただけたら、安心してもらえるのではないかと思いますので、さらなる後押しをみんなですていけたらと思っています。</p>
議長 (市長)	<p>さきほどの人口の話は、9月末現在の状況を10月1日現在ということとで発表されています。まさしく外国人の方が増えてきている状況です。合併した平成18年のときは、外国人はわずか312人でしたが、10月末現在で1,578人と人口全体の4%近くまで増加しています。40か国を超える国の人たちが住まれていますので、多文化共生も大事にしていかなければならないと思います。現在の取組としては、国際交流協会を通じて、日本語教室等を開催している状況です。ただ、これは行政だけではなく、雇用者側である企業も、社員教育等を通じて、しっかりしてもらわなければならないと思っています。日常生活の中でも、例えば、ごみの分別が全くできていないということについては、回収されなかった状況や回収しなかった理由を伝えるために、日本語と外国語の併記を行い、周知しているという状況です。</p>

<p>教育長</p>	<p>それから、小中一貫校についてですが、もちろん私たちも、後戻りではできないという想いでしっかりと取り組んでいかなければならないと思っています。また、早い時期に本工事の発注ができるよう進めている状況であり、今後も、教育長と一緒に、しっかりと取組を進めていきたいと思っています。</p> <p>ICTのことで、昨日の新聞で国が発表した内容が、小学生・中学生1人に1台、学習用のパソコンかタブレット端末を無償で提供するというものでした。これまで加東市でも取り組んできましたが、もっと早くやってもらうべきことだったと思います。しかし、全体としていい方向に向かっているのではないかと考えています。</p> <p>小中一貫校建設は、本当に頭からずっと離れない大きな課題だと考えています。不安を感じている方たちに、やはりしっかりとした説明も含めて進めていかなければならないという思いを抱いています。何とか実現をさせていく、そして、そこに通う子どもたち・地域が、本当にこれでよかったと言えるような学校づくりが、私たちの大きな使命だと思っていますので、色々な御意見を賜りながら進めていきたいと思っています。</p>
<p>議長 (市長)</p>	<p>あと一点、防災教育の部分は、我々もしっかりと取り組みますが、やはり地域の力を借りながら、自分の地域を知ってもらう、そして、いざという時に動ける状態をつくり、命を守るということが一番大事にすべきことだと思います。そんな思いで、まず地域を知っていただくためには、地域の皆さんの御支援をいただきながら、地域と一緒に進んで取り組まなければならないと思っています。最近、私が言っているのは、行政は万能ではないということです。全ての事象に行政側が一人ひとりを手助けに行くことは、決してできません。そういうことから、地域同士で助け合ってもらい、互いに近くで助けるといふ互近助（ごきんじょ）を大事にしてくださいと言いつつ進んでいるような状況です。これからも、そういったことはしっかりと発信をしていきたいと思っています。</p> <p>それでは、協議事項の教育大綱における各施策の今年度の取組状況、そして来年度に向けての取組について一旦終えさせていただきます。</p>
<p>議長 (市長)</p>	<p>(2) 教職員の働き方改革について</p> <p>次に、2番目の教職員の働き方改革について、御意見を賜りたいと思います。</p> <p>事務局説明</p>
<p>議長 (市長)</p>	<p>教職員の働き方改革についての説明がありましたが、委員の方から、先ほどの施策も含めて、幾つかあるということでしたので、そのあたりから詳しくお聞きしたいと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>働き方改革で、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、部活動指導員の方たちに支援をお願いするというのはもちろんですが、大事なことは教員が子どもに向き合う時間をしっかりと確保し、その対応ができる時間も確保することが一番大事だと思っています。前の議題の中で</p>

	<p>も、不登校対策等をやっているということがあったが、連携だけではなく、専門的な学識者の方々の御支援もいただきながら対応していく必要がもっとあると思っています。そういう意味では、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等の外部の専門的な方々にも御支援をいただき、対応をしていかざるを得ないと感じています。また、ICTについても全て学校の先生だけで対応するというのは難しいと思うので、指導者の確保もお願いしたいと思っています。</p>
委員	<p>これは私の思いですが、どの会社でも今、働き方改革とっていますが、それはなぜそうなるのかというと、個人的に自分の時間をとろう、もっと人間として豊かな生活をしようというところが、一番にあるのかもしれない。学校の場合は、その余った時間を子どもたちのため、もしくは授業にもっと時間をかけることが、一番大事であるのかもしれない。しかし、先生方は、自分がレベルアップするような自分磨きを通して、仲間を学校外でつくり、そのような人たちとの付き合いをすることによって、一番大事な人間、人として成長し、教師としても成長して行ってほしいと思います。そういうことをもし続けていけば、東須磨の先生方のようないじめはなかったのではないかと、また、そのいじめられた先生も外部でつながりがあれば、助けを求めることもできたのではないかと思います。私はこの働き方改革によって、先生が学校だけではなく、色々なところで自分磨きをしてつながりを持ち、人間として成長していってほしいことだと、そうなってほしいなと思います。</p>
委員	<p>様々な社会の変化で課題が生まれてきており、地域や家庭の教育力が低下したことにより、学校でしかそういった課題をクリアすることができなくなっています。ですから、働き方改革ということもありますが、地域や家庭の教育力をつけていかない限り、なかなか難しいと思います。</p> <p>若い教員が増えている今、時として厳しい指導はありますが、人格を否定するようなことはありません。ただ、勤務環境の悪さによるストレスのはけ口として、いじめや各ハラスメントになることは十分あり得ると思います。私の経験から言うと、普段の教材研究や授業はやりがいと感じている教師が多いと思います。しかし、毎日の宿題やノート指導、採点、成績処理、学級だより、会計、出席統計、各種調査等の事務が負担になっています。勤務時間内に休憩を取らずに働いても、すべてを処理することは難しいため、現状を考えると思い切った改革が必要だと思います。また、専門性ととも人間性を磨く意識を持つことは大切だと思います。</p> <p>スクールサポートスタッフについて、事務的な部分を助けてもらうことができれば、子どもと向き合う時間も増えると思うので、できるだけ早くしていただければと思います。</p> <p>職員の大きな負担になっているのが生徒指導です。子どもが帰った時間帯と両親が帰宅する20時を過ぎてから学校に電話がかかってくるのがたくさんあります。留守番電話を設置することで、遅い時間帯での折り返しではなく、日を改めて電話をかけるというようなことが無意識に浸透していくのではと思っています。生徒指導の部分を職員と一緒にしてくれる人がいるとありがたいかなと思います。そういう意味で、同僚、先輩や管理職に相談はしますが、それ以外にスクールソーシャルワーカーに相談することで、頑張れるという話になります。それはやはり、自分の弱さを話せるスクールカウンセラーが、今、保護者の対応だけで手いっぱいなの</p>

	<p>で、先生方の思いを受け止めてくれる方が必要ではないかなと思います。</p> <p>学級や授業のことを相談できるスーパーティーチャー的な人が市の中にいれば、第三者という立場で、学校内で話にくい内容も相談できます。生徒指導、事務的な補助、精神的なものや自分の指導、そのような立場の方の人的な補充をいただけたらありがたいなと思います。</p> <p>また、保護者の方が自分の子どもの子育てで悩んでいる方が結構います。こういったことに対する相談窓口をこれからも変わらず充実していかなければならないと思います。</p>
委員	<p>現状の教育水準を維持しながら、働き方改革を進めていくことの難しさを改めて感じています。</p> <p>学校では、取り組まなければいけない課題が、一つ一つ年を追うごとに増えてきている現状がありますが、減っているものはほとんどありません。職員にとって、新たなことに取り組むことや年々増える事務量がストレスになっています。多様な社会になり、問題行動、保護者の相談や苦情等と向き合わなければいけない時間が、飛躍的に増えてきているのが現状だと思っています。子どもと向き合う時間を確保するために、スクールサポートスタッフを各学校に配置していく必要がありますが、保護者の相談や苦情等を最終的に聞くのは担任であり、その後の対応を引き継いでくれるような部署が必要ではないかと思っています。そこには人とお金がかかりますが、そういった具体の取組は是非進めていかなければならないと思います。</p>
教育長	<p>子どもと教員が関わる時間をなくしては、本当の教育が出来ないと思っています。先生でしか出来ないことは先生でやってもらうということを徹底していき、そのための具体的な方法や施策を考えなければならぬと思います。</p> <p>スクールサポートスタッフ等の人材確保や留守番電話の設置を含めた、先生方のワーク・ライフ・バランスの充実に向けた仕組みをつくっていく必要があると思います。</p> <p>ごくわずかな生徒ですが、子どもたち自身の精神的なしんどさが出てきていることも事実であるため、専門家と連携しながら、学校や家庭でどう対応していくのか、また、どうやってその子をしっかり支えていくのかというようなことに取り組んでいます。さらに、SNSを通じて子どもたちが誘い出されるというようなことが、今後も起こらないように、努力を繰り返してしていく必要があると思っています。</p>
議長 (市長)	<p>教職員の働き方改革というのは、子どもに向き合う時間をしっかり確保し、教育の質を高めていくことが一番だと思います。また、先生の生活の質を高めることも大事だと思うので、そのようなところをしっかりと配慮すべきだと思います。</p> <p>一般行政職でも同様ですが、仕事というのは、勤務時間の中で、やるべきことをするということが大事だと思いますが、窓口対応をしていると、その日のうちにやらないといけない仕事が出来ず、時間外にすることも現実にあります。職員もそういう中で苦勞しながら頑張っている状況であると思っています。</p> <p>様々な働き方改革につきまして、意見を頂戴しましたけれども、他に追加で何かありませんか。</p>

委員	<p>電話対応より直接顔を合わせて話をする方が、感情がおさまるケースが多いです。教育委員会では実際にしていただいているので、非常に良くなっていくのではないかと思います。</p> <p>問題点ばかりを提起していますが、子どもたちが全体的に明るい表情で一生懸命前向きに勉強をしていると感じていますので、若干の問題点はあるにしても、全体としては非常に良い状況だと感じています。</p>
議長 (市長)	<p>毎年、労働組合の関係者、連合等の組織の代表の皆さんから、教育長と私が色々な要望等を聞く機会が今年も間もなくあります。まだまだもう少しこういったところをというような意見もある中で、他市に比べれば、本当に充実した取組をしていただいているというお話もいただいています。そのような意見もいただきながら、それで満足することなく、またさらに、そのようなお話を聞かせていただきたいなと思っています。</p> <p>これで2番の教職員の働き方改革につきまして、終えさせていただきます。</p> <p>質疑・意見等なし</p> <p style="text-align: center;">11時30分 閉会</p>